平成28年度第1回千葉市若葉区公民館運営審議会議事録

- **1 日 時** 平成28年7月8日(金)15時00分~16時25分
- 2 場 所 千城台公民館 セミナー室
- 3 出席者 (委員)

内山委員長、大澤副委員長、猪野委員、深山委員、成田委員、江﨑委員、 横田委員、森谷委員、山田委員、伹田委員、近藤委員、野本委員、髙橋委員 (事務局)

高石館長(千城台公民館)、達可館長(更科公民館)、菊池館長(白井公民館) 深山館長(加曽利公民館)、押尾館長(大宮公民館)、中村館長(みつわ台公民館) 高宮館長(若松公民館)、鈴木館長(桜木公民館)、桜井副館長(千城台公民館) 山本主査(千城台公民館)

4 議 題

- (1) 委員長・副委員長の選任
- (2) 平成27年度若葉区公民館の利用状況について
- (3) 平成27年度若葉区公民館の事業報告について
- (4) その他

5 議事の概要

(1) 委員長・副委員長の選任 委員の互選により、内山委員が委員長に、大澤委員が副委員長に選任された。

- (2) 平成27年度若葉区公民館の利用状況について 事務局より、平成27年度の若葉区公民館の利用状況を報告し、承認された。
- (3) 平成27年度若葉区公民館の事業報告について 事務局より、平成27年度の若葉区公民館の事業報告を行い、承認された。
- (4) その他

山田委員より、審議会資料の事前送付についての要望及び「指定管理者制度導入について(案)」の取り扱いについての質問がなされた。

6 会議経過

- (1) 議題2 平成27年度若葉区公民館の利用状況について 質疑なし。
- (2) 議題3 平成27年度若葉区公民館の事業報告について

(江崎委員) 講座の受講者数の中で、初めて参加する方がどれくらいいるかを、アンケート 等で把握していますか。

- (髙石館長) 初めての受講かについて、統計的に把握するということはしておりませんが、 普段はサークル等で活動している方が、公民館の主催事業、例えば音楽コンサート等に、毎年のように参加していただいている傾向が強いと感じます。一方で、夏休みの子どもの講座などは、学年が上がっていくこともあり、新しい子どもたちが参加し体験する、というサイクルが出来ている状況があります。
- (中村館長) 講座の受講者は、事前のPRの仕方により、大きく変わる気がいたします。市 政だよりに掲載した場合は、公民館の区域外や若葉区外の広域から参加者が集 まり、口コミや関係する方の人脈による場合は、従来から公民館事業に参加し ている方の割合が多い感じがいたします。
- (猪野委員) みつわ台公民館では「みつわ台こどもニュース」を毎月出されているとのことですが、主な内容と始めたきっかけは、どのようなことからですか。
- (中村館長) これは、10数年来の伝統となっていますが、みつわ台公民館では、公民館主催事業の他にも、育成委員会が公民館を使って主催する事業が40近くあり、ほぼ毎月行事があります。地区内の小学校3校(源小、みつわ台北小、みつわ台南小)の全児童に対して、毎月、その行事内容や、公民館の事業内容、知らせたい事柄を掲載し、月当たり1,000枚くらい作成し、配布しております。
- (山田委員) 説明を聞かせていただいて、みなさんとても努力されていると思いました。 例えば、白井公民館で、郷土史学習支援者養成講座を行っていますが、こうい う引き継いでいく、養成していく事業は、とてもよいと思います。周知の方法 については、回覧板を利用したいという館がありましたが、市政だよりでは足 りない部分を補い、公民館の存在を知らせるためにも、回覧板の活用はよいの ではと思います。公民館を利用するしないに拘わらず、「公民館ってこんな活動 をしているんだ。」と日頃から知らせておくことで、ちょうど、その方が、行き たいと思った事業がタイムリーにあったときに参加するのだと思います。参加 者が少なくても何でも、公民館の活動が活発であることを広めていってもらえ たらと思います。大宮公民館は、地域の方とのつながりが、とてもあると思い ます。駐車場を地域の行事に貸していると聞きましたが、必ずしも公民館の事 業ではなくても、地域のいろいろな団体とつながって行うこと、それこそが、 公民館の役割でいいのではないかと思います。そういった、主催事業に関わら ない部分でも、地域と関わりを持っていただけたらと思います。子どもの居場 所づくりとして夏休みの施設開放を行っているところもあると聞きましたが、 これから夏で暑い日が続くので、親御さんが働いている間、子どもが家でする こともなく困ってしまうと思うので、開放事業が、もっとどこの公民館でも出

来ないのかなと思います。その辺のノウハウを館長さん同士で伝授したり。 おゆみ野公民館は1年中開放しているので、そういう情報も入れて、もしかしたらボランティアの方も必要なのかもしれませんが。子ども達が小さい時から公民館に親しむような、楽しいところと思って大人になって、また、大人の事業に参加したり、サークル活動に参加したりとつなげることが、長い目で見て利用者を増やすことになるのではと思います。また、大人の中でも、特に若い20代対象の事業が全くない。その年代対象の事業を考えたらどうかと思います。若い方でバンドの演奏場所に困っている人もいるかもしれないし、そのような方が、初めて公民館に来るようなきっかけになれば、と思いました。

(内山委員長) 今の発言は、ご意見ということでよろしいですか。

(山田委員) そうですね。

- (深山委員)子どもの科学教育または工作体験の活動について、大変興味があり、自分も関わっているが、各公民館の事業報告の中で子どもたちの科学的な活動が行われていることは、非常に良い、大変うれしく思っています。これからも是非よろしくお願いしたいと思います。その中で、大宮公民館の「ガス管リサイクルペンダント作り」はイメージが湧かないが、どういうものなのでしょうか。
- (押尾館長) ガス管を再利用すると「ペレット」になるのですが、それを細かく粒状にして、 各色のついたものを人形や星の形に組立てて、アイロンを掛けるとピタッとく っ付きます。それがペンダントになります。イメージが湧かないと思いまして、 写真を持ってきました。(写真で説明)
- (近藤委員) みつわ台公民館の「子ども縫い物教室」では、どのようなものを作ったのか、 教えてください。」
- (横田委員)毎年いろいろやっているのですが、(昨年度は)「もう一つのポケット」というものをボランティアさんに手伝ってもらいながら、2時間半で何とか仕上げ、とても好評でした。今は、ポケットがついていない洋服が多いので、小さいポケットの袋を作り、部品を付けて下げると、どの洋服にもポケットがつくというものです。時期的にクリスマスが近くなるとサンタの人形を作ったり、針に糸を通すということを学校の授業で教わるよりも先に、なるべく小さいうちに経験してもらいます。針に糸を通すことは、ものを作る基本でもあるし、とても集中力を必要とすることなので、「あなたたちが勉強することにも一番役に立つことだから。」と言って、一切手伝わないので、悪戦苦闘していますけれども、糸を通しています。2時間半たった時には、作って評価をしなければならないので、目が粗くてもいいから、ちゃんと使えるように、裏側ではボランティア

さんに手伝ってもらっています。

- (大澤副委員長) 各公民館とも工夫されて色々な事業を展開していることに非常に感謝しています。若松公民館の先ほどの説明で、講師と受講者側の温度差がある。 講師の方は一生懸命教えたい、受講者側は楽しみたい。とのギャップがあるので、その温度差を埋めたい。とのことでしたが、それは解決されたのでしょうか。
- (髙宮館長) 昨年と今年で、解決されたかどうかという点では、解決しています。解決してくれたのは何かというと、それは参加者の熱意です。公民館がこれをしたから解決できましたということではなくて、参加者の方が、共に考えてくださると、それが解決につながります。例えば太極拳だと、教える方は武道として教えたい。ところが教わる方は、体操として教えていただきたい。武道としての考え方と体操としての考え方の違いが昨年は見えたが、今年は、みなさんが一生懸命になって、意欲を持って来てくだったということが、ずっとお休みもなく4回通して出来たということにつながっているのではないかと思います。
- (内山委員長) 今日は、8館の公民館の館長さんにご説明いただきましたが、内容を見ると、 みな、大変苦労されているということが伺われます。それでも、子どもたちや 地域のために一生懸命やってくださっているということに、うれしく思います。 あいさつの中でも申し上げました「学びあい支えあい」という言葉が、みなさ んの心の中に入っているのではないかと思います。お金の無いところで、みな さん努力をされていますので、相当汗をかいたなと思っております。ありがと うございました。

(3) 議題4 その他

(山田委員) 事業報告の資料のことですが、今日初めて見たので、私は、たくさんいいなと思ったことや聞きたいことがあったのですが、この時間の中でうまく自分の意見をまとめられなかったので、事前に資料をいただいておきたいと思います。予め読んで自分の聞きたいことをまとめておくことで、無駄な時間を省くことが出来ると思いますので、よろしくお願いします。稲毛区の公民館運営審議会では、同じような要望が2年前に出て、予め会議の資料が委員へ届けられるようになり、そのおかげでポイントを押さえた話が出来るので、質問や意見も質が高くなったということをお聞きしています。なので、是非、次回からは(事前配付を)お願いしたいと思いますので、その辺のご意見を伺いたいと思います。

もう一つは、すでに終わっている他区の公運審(公民館運営審議会)では、会

議のあと、指定管理者制度導入の案の説明がされたそうです。私たち公運審委員が、そのような話を聞くとすると、どのような役割を果たすべき立場なのか、お聞きします。他区では、公運審での説明の後で、委員から、いろいろな意見が出たと聞いていますが、公式な議事録として残るものなのか、また、出た意見は、事務局の案に反映されるものなのか、お聞きします。また、なぜ、公運審の会議の中の議案の一つとして審議を行わないのか、その理由についてご説明を受けたいと思います。

(髙石館長) 1点目につきましては、取りまとめの作業がありますので、なるべく早めにスタートして、何日前にお渡しできるかは明言できませんが、事前にみなさまに 郵送するようにしたいと考えております。

2点目につきましては、運営審議会は、若葉区の各公民館の事業についてご審議いただくということで、会議を開いており、その案件ではないということで、別途、終了後に、生涯学習振興課が、説明させていただくということでございます。この後、生涯学習振興課が、説明にまいりますので、内容も含めて預けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(山田委員) 同じ質問を生涯学習振興課のかたにお尋ねするということですか。

(髙石館長) 私どもとしては、これ以上のお答えはないという状況です。

(横田委員)資料を前もって送るという件について、山田委員のご意見は伺いましたが、実は、他の組織で、それを行っているところがあります。決算が出たら、資料の郵送料が載っており、その金額が、市全体の会議なので、かなり多かったのですが、それで、みんな「資料は当日でよい。」ということになった経験を昨年いたしました。私は、会議の場で、初めて聞かせていただいて、その時に感じたことを申し上げさせていただくことでよいと思います。すいませんが、前もっていただいて、これを全部読んで、みなさんに質問するほどのところはないかなと思いますけれども、一つの意見としていただければ。

(山田委員) もし、費用がかかるようであれば、置いておいていただいて、私たちが取りに 行ってもいいと思います。無駄な経費を使わないように協力したいと思います。 (内山委員長) 両方の意見がありますから、事務局で、検討してください。 (髙石館長) 了解いたしました。

> (問い合わせ先) 千葉市教育委員会生涯学習部 千城台公民館

> > 電話:237-1400